

# 2019年度一般入学試験（TEAP利用型） 記述式問題 解答

科目:2月3日 TEAP日本史

## 問 1

「被爆」は核兵器の爆発による被害を意味するが、戦争における核爆発の被害を受けた国は日本以外にないものの、冷戦期を中心に、アメリカやソ連などの核実験による被害を受けた人々は、世界中に多く存在するため。（98/100字）

## 問 6

逆コース

## 問 7（2）

史料A下線部に表れているのは、外面が「普通」という基準から外れていることへの嫌悪で、感動的なものに過ぎず、それゆえに能力を認めることで払拭されるが、「業病」に表れているのは、その存在自体を理不尽に貶める差別で、その根底にある思想（仏教）が信頼されている限り否定されない。（135/150字）

## 問 1 1

【亡所の定義】〈亡所〉とは、何らかの社会的な圧力により、蹂躪され忘れ去られた場所や、そこに住んだ人々の生活をいう。

【出題の意図】例題文を読解し、文中に使われている「亡所」の意味を理解したうえで、その概念を、現代社会を読み解く批判的ツールとして使用できるかどうかをみる問題。さまざまな抑圧が働く現代社会をしっかりと批判的視座で捉えられているか、その問題が出来る歴史的プロセスを把握できているかといった、日常の問題意識のあり方が前提として問われる。